

福島県のこれからの米作り

舟木克

調査のきっかけ

親戚の家で作っているお米が昨年、強風で稲が倒れてしまい、もっと丈夫な品種があれば良いのにおもい、米の品種改良に興味を持ちました。

調査の目的

- ・強風や豪雨などの自然災害に強く生産しやすい米を探す。
- ・同時に福島で育えられる米を探す。

生産量の多い米

メリット

デメリット

1位 コシヒカリ (33.9%)	耐冷性、穂発芽への抵抗性に優れる (穂発芽: 収穫前に実った種子が芽が出ること)	茎が弱く倒れやすい、いもち病に弱い
2位 ひとめぼれ (9.4%)	耐冷性が強い	耐倒伏性、いもち病抵抗力共にやや弱い
3位 ヒノヒカリ (8.4%)	特に劣ったものはない (西日本を中心に作れる)	いもち病と耐倒伏性がやや弱い
4位 あきたこまち (6.7%)	いもち病抵抗性に優れる	耐倒伏性に弱い
5位 ななつぼし (3.4%)	収穫量がやや多い	耐倒伏性、いもち病に弱い

これらを見ると、生産性上位5つ全てが、耐倒伏性に不安があり、あきたこまち以外の4つは、いもち病にも弱いことが分かります。

しかし、福島県をあげての品種改良によってできた「天のつぶ」「里山のつぶ」の2品種のうち「天のつぶ」は耐倒伏性が強く、いもち病にもやや強い品種です。また「里山のつぶ」は耐倒伏性はやや強く、いもち病も耐冷性も優れている品種です。

	天のつぶ	里山のつぶ	コシヒカリ
耐倒伏性	強い	やや強い	弱い
耐冷性	やや強い	強い	並
いもち病抵抗性	並	やや強い	弱い
欠点	葉いもちにはやや弱い	栽培に適した土地が標高の高い中山間地である	とくに葉いもちに非常に弱い

まとめ

今回調べたことから、福島県では、独自の開発で今までの品種の欠点を補った育てやすい品種ができており、米どころとしてさらに輝ける可能性があると感じました。